

平成25年度 村上市生活科部 活動報告

部長 高橋 幸 (さんぼく南小)

1 研究主題

子どもが楽しんで活動する授業の工夫

2 研究の概要

4月30日(火) 代表部員会 会場 保内小学校
計画立案

8月6日(火) 部会 会場 理科センター
教育課程伝達講習会
理科センター研修会への参加
「つくってあそぼう」 神納小 佐藤 香織 教諭

3 研究の実際

理科センター 単元別研修会
2年「つくってあそぼう」

(1) 研修内容

身近にある物を使って、遊びや遊びに使う物を工夫して作り、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにすることをねらいとした授業「つくってあそぼう」の実践報告。

気付きの質を高める学習指導の進め方として、次の4点を指導計画に取り入れた実践が報告された。

- ① 振り返り表現する機会を設ける
- ② 伝え合い交流する場を工夫する
- ③ 試行錯誤や繰り返す活動を設定する
- ④ 児童の多様性を生かす

(2) 実習

授業の中で児童が作って遊んだおもちゃを参加者で製作し、身近な材料で簡単に作れるおもちゃ作りの実際を学んだ。

- ① 飛行リング作り
- ② 1本のペットボトルからおもちゃを作る
ふわふわ浮き玉、ミニ空気砲、飛行リング、こま 等

4 成果と課題

- ・ 単元別研修会では、気付きの質を高める4点についての実際について学び、今後の指導計画作成や実践する際の参考となるものだった。
- ・ 実習では、実際に児童が作ったおもちゃを作り、参加者で意見交換しながら工夫した。また、ペットボトル1本から4つのおもちゃ作りを行った。安全面での配慮もあり参考になった。
- ・ 気付きの質を高める体験活動は授業の中で計画しやすいが、絵、動作、劇化等の楽しく多様な表現活動を取り入れていくことや言語による表現活動についての研修も必要である。